

平成24年度

2級造園施工管理技術者

実地試験 解答試案

2012 / 11 / 19

■下記は受験者の皆様の参考に資するため、当社が作成した解答の試案です。試験実施団体の発表によるものではありません。

問題1

施工経験記述により省略

問題2

(1)

A	B
ウ	オ

(2)

(イ)

- ①掘取りをを開始する前に灌水し樹木に水分を吸収させる。
- ②根鉢は根元直径の3～5倍程度とする。
- ③根の断根部の腐敗を防止するため、痛んだ根部は鋭利な刃物で切り直して腐敗防止剤などにより消毒する。
- ④掘取り作業に邪魔になる下枝があるときは、縄で内側から順に枝をしおり幹に縛る。
- ⑤掘取り作業中、掘取り樹木の安定を確保する必要がある場合は、仮支柱を設けて作業を行う。
- ⑥予め枝葉の剪除を行い、地上部と地下部の水分需給のバランスをとっておく。
- ⑦根鉢の上面の土は掻き取り、雑草類を移植先に持ち込まないようにする。

ーなど

(ロ)

〔樹幹〕

クレーンなどによる釣り込み、運搬時の樹皮等の損傷を防止するため、縄巻き、ムシロ、マットな

どで幹巻きを行い保護するーなど。

[根鉢]

根鉢の乾燥を防止するためカバーを掛け蒸散防止を図る

掘上げた鉢の土をよく締め込み、鉢土の割れを防ぐよう堅固に根巻きするーなど。

(3)

A	B	C	D
風	樹高の2/3	2	根止め杭

(4)

(イ)べた張り

(ロ)

- ①地表から30cmの深さは開墾して、雑草、石などの夾雑物を丁寧に取り除く。
- ②特に笹類の根は除草に労力を要するので徹底的に除根しておく。
- ③表面配水勾配がとれるように中央部を高くして表面の仕上げをするーなど。

問題3

(1)

- ①その日の作業の手順と留意事項
- ②その日の気象状況と留意事項
- ③新たに加わった作業班、工種があった場合のその内容と留意事項
- ④使用重機の運転、整備等の留意事項
- ⑤安全带、保護帽、使用工具の点検、取扱、保管等の留意事項
- ⑥その日の健康状態の確認ーーーなど

(2)

A	B	C
構造	30	75

(3)

(イ)

A	B	C
オ	ア	キ

(ロ)

- ① 玉掛けにあたり、吊り荷の重心位置を確認する。
- ② 地上より浮かした状態で一旦止め、荷の安定を確認する。
- ③ フック、ワイヤーロープ等の吊り具の異常の有無を点検する
- ④ 玉掛け用具に定められた使用荷重を確認し、玉掛け荷重がその範囲内であることを確認する。ーなど

(ハ)

- ① 合図者は、定められた合図により合図を行わなければならない。
- ② 合図は、節度をつけて明瞭に行わなければならない。
- ④ 合図は、運転者の見やすい位置で行わなければならない。
- ⑤ 合図は、安全な場所で行わなければならない。ーなど

以上

■ 試案に関する問い合わせ、ご指摘は下記にて受け付けております。

T G K (株) 東北技術検定研修協会

仙台市青葉区二日町13-26

TEL022-738-9312

FAX022-738-9365

mail info@tohokugjken.com